

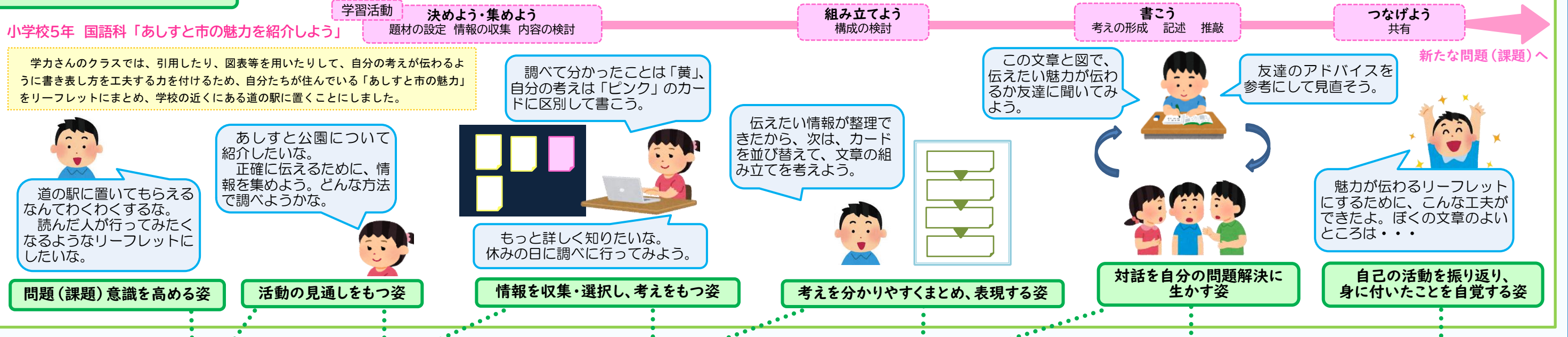


## 問題（課題）意識を高め、自己調整しながら学習を進める子供の姿とは

教師が育ててほしい子供の姿を想定しながら学習活動を設定するなど手立てを工夫することは、問題（課題）意識を高め、自己調整しながら学習を進める子供の姿につながります。

単元例や各学校でみられた取組を基に、子供の姿やそれを支える教師の手立てについて考えてみましょう。

### 単元で想定される子供の姿(例)



### 県内でみられた子供の姿

教師の見本を見て、「わっかを使って変身したい!」と意欲を高め、色や形に注目した飾り付けの工夫を考える姿

小学2年生 図画工作科「わっかでへんしん」

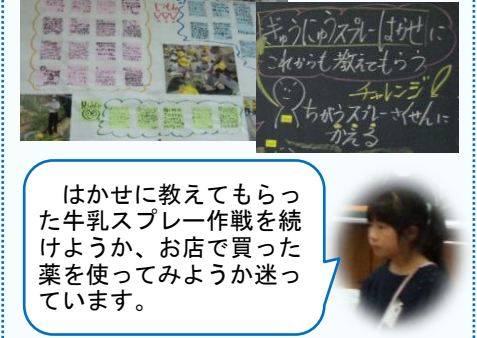


このような姿を引き出すための学習活動

思いや願いを高め、見通しをもたせるための題材との出会い

自分たちが調べたことやゲストティーチャーの話に基に、栽培している野菜の世話を見直し、作戦を考える姿

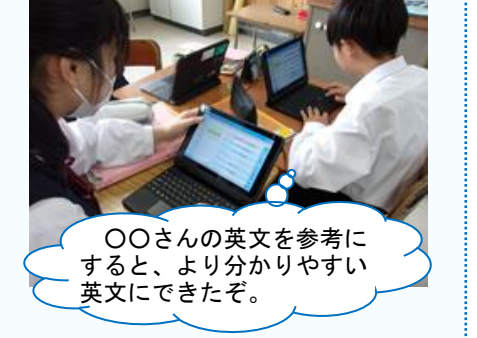
小学2年生 生活科「やさいをつくる」



互いの取組や考えを伝えるための学習環境や話し合いによる情報交換

1人1台端末で友達の文章を確認し、必要に応じて自分の文章作成に生かしたり見直したりしてまとめる姿

中学1年生 英語科「Unit 5 A Japanese Summer Festival」



自分の文章表現を見直すための画面共有機能を使った学び合い

調べてまとめたことを紹介し合う活動を通して、友達の取組のよさを自分の追究に生かす姿

小学6年生 社会科「憲法とわたしたちの暮らし」



一人一人の追究の見直しにつながるための紹介タイム

話し合いで得た新たな視点を基に、日当たりや動線を考え、鉢を置く場所を何度も検討し、自己決定する姿

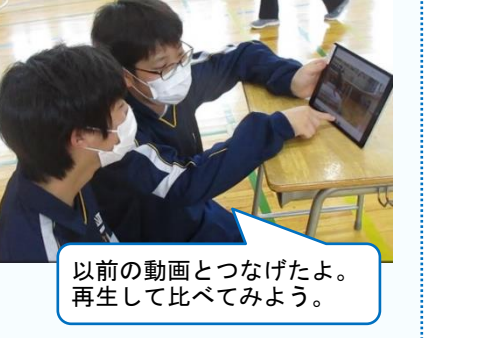
小学1年生 生活科「そだてよう わたしのあさがお」



自己選択・自己決定につなげるための理由を明らかにした考えの交流

成功した際に、以前の跳躍と比べどこが改善されたかを確認し、次の目標をもつ姿

中学2年生 保健体育科「陸上競技「走り幅跳び・走り高跳び」」



取組のよさを視覚的に捉えるための動画撮影による振り返り

## とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)で期待する子供の姿

子供たちが思考を活性化し、真剣に課題に向かう姿

子供自身が主体的に学習の進め方や自分に合った学び方について考えながら学んでいく姿

- なぜだろう。
- 今までと違うぞ。どうしてだろう。
- できる、分かるようになりたい。もっと知りたい。

- 〇〇してみよう。次は△△していけばよさそうぞ。
- ここは、まだよく分からないから調べよう。
- みんなは、どう考えたかな。聞いてみたいな。
- みんなに言いたいことが伝わるかな。
- ここまで分かったぞ。次は、□□してみよう。

### 【授業改善の視点】一単元または一単位時間において

視点1 子供の問題(課題)意識を高める

視点2 子供が自己調整しながら学習を進めることができるようにする